

天国にいるあなたへ

私の部屋に置いている遺影に向かっていつも話しかけている私。天国にいる家族の方がにぎやかですネ。兄と両親そしてあなた。こちらは私と息子夫婦です。皆それぞれ元気で楽しく生活していますのでご安心下さい。早いものですネ、あなたを天国に送って9月18日で10年目を迎えます。結婚生活31年と6ヶ月、昭和36年4月5日、母思いのあなたは、母の誕生日に結婚式の日を決めましたネ。昨日のように思い出されます。生活の場所は箱崎町にある学生下宿でした。学生10名と私の家族3名、食事と弁当を作っての新婚生活でした。夏は蚊帳、冬は火鉢の学生の部屋でした。3年間の箱崎の生活、今なつかしく思い出されます。

昭和39年、鹿児島県立短期大学へ就職、3年間新婚生活となるままごとみたいな生活でした。鹿児島での思い出は、昭和42年1月高千穂の峯への日の出拝みに、南国交通バスにて登山したこと、カメラのシャッターを箸で押してやっと写した日の出。又、私の運転で箱崎にいる母を7時間かかってドライブし、訪ねた3年間でしたネ。

昭和42年4月、待望の西南学院大学に就職出来ました。部活の野球部長と寮監を併任。昭和44年長男信幸を与えられました。平和台へ福大対西南大の応援合戦に家族で出掛けました。野球はあなたの元気のもとでしたネ。寮祭のおみこしなつかしい思い出となりました。学問では、特に西南学院大学にて、全国会計学会を主催し、全身全霊を盡した事、その後、带状疱疹にて、体調が悪くなりました。痛みのブロックが肝臓を少しずつ痛めつけていました。昭和55年秋、胆石症にて入院、白血球が少し、肝硬変のため手術出来ず、友人の医師に定期的に検査と治療をして来ましたネ。頑張屋のあなた、元気でたのしく生きること、私には日頃笑顔が似合うといってくれましたネ。昭和53年より10年間筋萎縮性編牽硬化症の母が、この世を去った事、とてもつらく、淋しい思いをしました。2年後、3ヶ月の短期留学を計画、私も同伴させて頂きました。医師の友人から、処方して頂いた薬と漢方薬を持参し毎日煎じて飲ませた留学中、最後の目的地ロスアンゼルス西南大OB会の集まりを控え、風邪の誘因にて高熱が続いた。なつかしいOBの方々にお会いし、少し元気になる。3ヶ月の留学も終了、すぐ入院の運びとなる。胆のう炎が胆のう癌となった。生前高田は言っていた。病気をいろいろ経験したので、今度病気になる時は、癌なのだから、病名は、云わないで欲しいと、そして、手術もしないで欲しいとの事、医師に申し上げていた。

あなたは本物のクリスチャンでしたネ。療養中、退院間近な人々の依頼を受け、教室を借りて簿記の講義をしてましたネ。本当に先生が好きな人でした。又、家族思いで、良く旅につれて行きましたネ。母の喜寿を祝って家族が二週間ヨーロッパ旅行につれて頂いた事、忘れられないのが、我が家で恒例の正月3日あなたの誕生日、1992年正月3日芳賀帳には90名の名前が記載されてました。うれしそうな顔が忘れられません。

私があなたを送って成した事は、婚約中だった長男信幸と順子さんを結婚させた事です。現在の私は、老化防止のため、太極拳をしたり、絵画、陶芸、フラワーアレンジメント etc。嫁の順子さんが、我が家を教室として、フラワーアレンジメントを教えています。花を愛し、人を愛し、ボランティアとして（老人を対象として）生かされて居ります。皆様のお陰で、追悼誌が出来ました。私と息子、そして澤山の学生を育てて下さり有難うございました。最後になりましたが、小林さんを始めあなたがお世話様になった関係者の皆様に有難う感謝申し上げます。

妻 吟子